

令和 2 年度 事業実績報告（案）

1 会議の開催

開催日	会議名	協議事項等
令和 2 年 5 月 18 日	第 1 回 書面協議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度事業実績報告及び決算について ・ 令和 2 年度事業計画（案）及び予算（案）について ・ 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について ・ 瑞浪市地域公共交通総合連携計画の評価（案）について ・ 恵那自主運行バス（瑞浪＝山岡線）の運賃改定について
令和 3 年 1 月 13 日	第 2 回 書面協議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 瑞浪市コミュニティバス運行内容の変更（案）について ・ 瑞浪市デマンド交通運行内容の変更（案）について ・ 地域内フィーダー系統確保維持計画事業評価について

2 地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請

地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請を行った。

利用者の増加を図るため、時刻表の全戸配布、制度説明会の積極的な開催や観光利用制度の促進といった稼働率の向上を計画した。また、デマンド登録者にアンケート調査を実施し、利用者のニーズを把握することで、デマンド事業の更なる利便性の向上に努めていく。

3 運行内容の検討

(1) 国土交通省より、全国約 40 万のバス停留所について、交通安全上の問題がないか調査が進められ、その結果、本市のコミュニティバスにおいては「バスが停留所に停車した際に横断歩道の前後 5 m の範囲、または交差点に車体がかかる」という理由で、以下の停留所がリストアップされた。

- ア 土岐線、釜戸＝大湫線「日焼田橋」
- イ 土岐線、釜戸＝大湫線「浄水場跡」
- ウ 萩原線「学園台」

上記停留所への対応としては、「日焼田橋」「浄水場跡」の停留所を廃止し、両停留所の間地点で且つ安全上問題がない箇所へ代替の停留所として「日焼田橋南」を新設した。「学園台」については、横断歩道から 20 m 離れた場所へ移動させ、コミュニティバス運行上の安全性を確保した。

(2) 下記のとおり停留所の名称を変更した。

- ア JA土岐支店前 → JA瑞浪支店 ※
※陶都信用農業協同組合の店舗統廃合のため。
- イ 稲津公民館 → 稲津コミュニティセンター
※停留所名称標記の統一のため。
- ウ 陶小学校 → 陶駐在所
※陶中学校の統廃合により、旧陶中学校へ陶小学校が移転したため。

- (3) デマンド交通の運行内容としては、地元住民からの要望を受け、釜戸ルートに乗降場所に「屏風山駐車場」を新設した。新設による効果として、釜戸町神徳区内屏風山駐車場下の集落に居住する利用者の利便性向上及び新規利用者の開拓が見込まれる。乗降場所の増加による運行時間への影響は僅かで、設定時間どおりの運行は可能。

4 地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価

地域内フィーダー系統確保維持計画については、毎年、地域公共交通会議において事業評価を行う必要があり、計画の進捗状況について評価を行った。

デマンド交通の利用促進に取り組むため、デマンド交通登録者へのアンケート調査に基づき、新たな乗降場所の新設及びルートの延伸を行い、周辺住民の利用機会の増加と新規利用者の掘り起こしを図った。

また、運転免許証自主返納者への支援を拡充し、自家用車から公共交通機関への利用転換を促進した。